



上奏式ニ關スル件

右謹テ裁可ヲ仰ク

大正十二年四月二日

内閣總理大臣男爵加藤友三郎 如



閣 第一〇七 號一

案 起

十一年三月

日

裁可 十二年四月二日 施行
決定 年 月 日

年 月 日

内閣總理

大正

内閣書記官長

審

内閣書記官



從來上奏式中奏聞裁可ノ別有之候處何レモ
勅裁ヲ仰クノ趣旨ミシテ其ノ間區別ノ必要モ
ナキ様認メラレ候ニ付テハ自今奏聞ノ形式
ヲ廢シテ裁可ノミトスルゴトニ上裁ヲ仰カ
レ然ルヘシ

但シ勅旨ヲ奉シ謹テ奏スノ形式
御覽ニ供スルモノハ従前ノ通

上奏可

- 一、勅任官ノ任免、官等陞叙、更任、休職、復職、減俸
- 一、貴衆兩院議長、副議長命免
- 一、貴族院議員命免
- 一、日本銀行總裁命免
- 一、從四位以上正二位迄、贈位同
- 一、敘功、敘勳、勳章加授
- 一、賞格更正
- 一、外國勳章佩用
- 一、豫備金支出ノ件
- 一、臨時軍事費支出ノ件

- 一、臨時事件豫備費支出ノ件
- 一、法律及豫算帝國議會ニ提出ノ件
- 一、條約御批准ノ件（樞密院御諮詢ノ儀上奏同院議決上奏書）
御下付ノ上閣議ヲ經テ上奏ノ場合
- 一、歸化願許可ノ件
- 一、陸海軍人被告事件判決ノ件
- 一、恩赦ノ件
- 一、大學令ニ依リ大學設置ノ件
- 一、皇太神宮御樋代料及御裝束ニ關スル件
- 一、兩大神宮正殿御屋根御垣等ニ關スル件

上奏 聞

- 一、奏任官ノ任免、官等陞敘、更任
- 一、奏任官待遇ノ命免、待遇官等陞等、更任
- 一、勅任官待遇附與
- 一、奏任官待遇附與
- 一、特殊銀行、會社ノ職員命免
- 一、各種委員會職員命免
- 一、各種記章授與、外國記章佩用
- 一、金銀杯褒章下賜
- 一、官立學校名譽教授ノ名稱ヲ授ク
- 一、大使公使ノ職務命免

- 一、大使館、公使館附武官職務命免
- 一、海外財務官職務ノ命免
- 一、名譽領事ノ命免
- 一、奏任官、同待遇官ヨリ判任官又ハ判任待遇官吏ニ轉任
- 一、試補採用、免職
- 一、政府委員命免
- 一、市長就任
- 一、勅任判事儉事職務
- 一、日本赤十字社名譽社員ニ推崇、有功章授與
- 一、日本赤十字社社長、副社長命免、日本赤十字社病院長、副院長就任
- 一、外國政府招聘許可、在職者ニ關スル規定適用、應聘中俸給受給

- 一、親任出張、旅行、上京
- 一、親任官除服出仕
- 一、從五位以下、贈位同
- 一、位ノ返上
- 一、勳等、功級ノ取消又ハ褫奪
- 一、勅諭ノ下付、還納、轉載
- 一、現役軍人婚姻願
- 一、犯罪處分
- 一、大使公使ニ御信任、狀竝御解任狀下付ノ件
- 一、條約御批准書交換ノ全權御委任狀
- 一、領事ニ御認可狀御下付ノ件

- 一、條約案ノ閣議決定ヲ請フモノ
- 一、條約交換延期ノ件
- 一、全權御委任狀返納ノ件
- 一、大使、公使竝特派使節葬儀ノ際儀仗兵軍樂隊派遣及ハ砲施行ノ件
- 一、各宗總本山別派獨立ノ件
- 一、社格社名改稱及別宮奉紀ノ件
- 一、神宮域内ニ避雷針設置ノ件
- 一、國神社鎮座五十年紀念祭ニ付休暇ノ件

明治十二年三月

御前議事式及公文上奏式施行

内閣

御前議事式

- 一 凡ソ内閣ニ 親臨シ又ハ宮中ニ於テ大臣參議ヲ召シテ事ヲ議セシメ 裁ヲ付ル者ハ大臣旨ヲ受ケ起テ案ヲ作ラシム
- 一 凡事ノ中ヨリ出ル者ハ大臣旨ヲ受ケ案ヲ作ラシム

内閣

公文上奏式及施行順序

第一項

詔勅

詔勅大臣旨ヲ受ケ内閣書記官ニ付シテ案ヲ作ラシム大臣參議之ヲ
調査シ覆奏シテ裁可ヲ乞ヒ可子御印ヲ親鈐シ大臣以下ニ付シ例ニ
依テ施行セシム

覆奏式

右 詔書謹テ施行ヲ請

年月日

可印

太 政 大 臣
右 大 臣
參 議

第二項 奏事

凡奏事ハ分テ三類トナス第一内閣ノ議定ヲ經ル者ハ上奏シテ裁可
ヲ仰クヘシ第二恒例アル者及小事ニシテ内閣ノ議定ヲ要セサル者
ハ大臣ヨリ直ニ之ヲ奏聞ス第三奏請ノ外報告ノ類ハ御覽ニ供スル
ニ止ル者トス

第一類奏事

某院省使或ハ卿長官上申某々ノ事

右謹テ裁可ヲ~~奉~~請フ

年月日

可印

太政大臣
右大臣
參議

事ノ一類ニ屬スヘキ者ハ法律ノ制定及改正官省院使職制章程出納
増減大工作奏仕官位
特赦國郡經界更正等

第二類奏事

某院省使若クハ卿長官上申某々ノ事

右謹テ奏ス

年月日

聞印

太政大臣
右大臣

第三類奏事

某院省使若クハ卿長官上申某々ノ事

同

某々ノ事

右謹テ御覽ヲ仰ク

年月日

太政大臣

覽印

右大臣

奏請ノ外報告ノ類上覽ニ供フル者内閣書記官ヨリ宮内卿ニ出テ
上呈スルコトアルヘシ

公文同議手續

一凡公文ハ内閣書記官之レヲ受ケ參議ノ議定ヲ要スル者ト否サ
ル者トヲ區分シ其議定ヲ要スル者ハ先ツ之ヲ同議ニ附シ捺印了リ異
議ナキ者ハ上奏ノ案ヲ附シ大臣ニ呈ス其異議アル者ハ其旨ヲ申シ

參議ノ會議ヲ要シ議定スルヲ例トス

同議書式

大臣

書記官

某省院使府縣上申某ノ事
法制局勘査進呈ス因テ同議ニ供ス
何々

參議

明治十二年四月十日

内閣書記官

奏仕官位仕叙之儀ニ付上申

奏仕官位仕叙之儀別紙参照之通、舊止院之項、敬定候章^程中上奏制可ヲ請フト有之候ヨリ必ス大臣參議ノ御^印ヲ要シ裁可ノ御^印ヲ乞ヒ然ル後施行致候事ニ相定マリ隨テ一官ノ昇叙ニモ必ス同議數日ヲ度リ候様成行仕々延滞之差支有之候次第本來奏仕之儀ハ其廳長官ノ具狀ヲ以テ奏聞ヲ經ル迄之儀ニ有之別段參議ノ議決ヲ要シ裁可ヲ仰キ候程ノ名義ニハ無之儀ト存候就テハ今般上奏式御決定相成公文ノ取扱方夫々區分相立候際、首トシテ右等之儀御改定相成今後ハ奏仕官位仕叙及ヒ其轉免共、内閣書記官ニ於テ其具狀ヲ調査シ格別之廉

アラサル者ハ、大臣ニ呈シ大臣御模印ノ上、奏聞ヲ經テ施行致候
様相成候ハ、公務之抄取ハ勿論、名義ニ於テモ相當之儀ト存候仍テ
別紙相添此段上陳仕候也

「參 照」

明治八年四月十五日改定太政官正院章程第五條

凡ソ奏仕官以上ノ通退點、陞ハ其具狀ヲ附シ其履歴ヲ審ニシテ彼
上奏制可ヲ乞フヘシ

右明治十年一月正院ノ稱ヲ廢セラレ書記官被置候得共章程ハ改
正無之

上奏式ニ因ル件
 勅方ヲ奉シ得テ奏ス及御覽
 ニ候ハ形式ノ外ニ征テ、謹テ裁可
 ヲ仰ク、形式ニ據ル下
 御覽ニ供スレ、切合ニ於テ、覽、赤
 紙ヲ附テ、除キ他ニ征テ、赤紙ヲ附
 也

大正五年四月一日 奉 施

